

船橋市

第4次船橋市地域福祉計画策定のための アンケート調査結果報告書（抜粋版）

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は「第4次船橋市地域福祉計画」の策定に当たり、市民や地域福祉の担い手の地域福祉に関する意識や、地域活動の実態や課題を把握し、計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

市民調査：船橋市在住の18歳以上の市民から無作為抽出
 団体調査：地域福祉の担い手となっている各種団体
 （町会・自治会、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、市民活動団体、助け合いの会、PTA、スクールガードなど）

3 調査期間

市民調査：令和元年10月1日から
 令和元年10月31日
 団体調査：令和元年10月30日から
 令和元年11月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

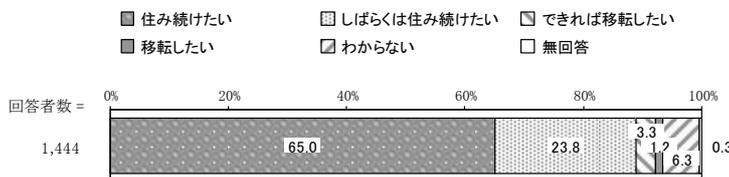
	配布数	有効回答数	有効回答率
市民調査	3,000通	1,444通	48.1%
団体調査	486通	344通	70.8%

II 調査結果

1 市民調査結果

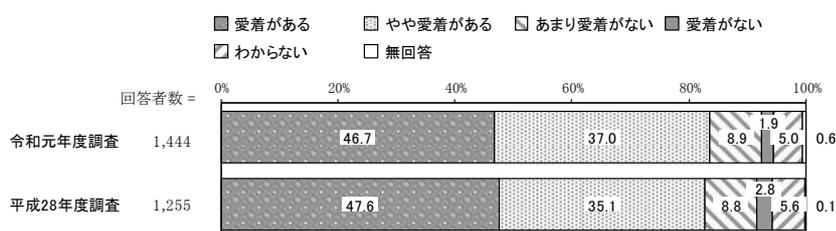
(1) 地域への意識等

問. あなたは、今後も船橋市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)



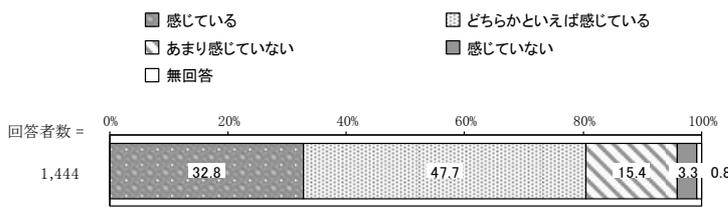
「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」をあわせた「住み続けたい」の割合が88.8%、「できれば移転したい」と「移転したい」をあわせた「移転したい」の割合が4.5%となっています。

問. あなたは、船橋市に愛着を持っていますか。(〇は1つだけ)



「愛着がある」と「やや愛着がある」をあわせた「愛着がある」の割合が83.7%、「あまり愛着がない」と「愛着がない」をあわせた「愛着がない」の割合が10.8%となっています。
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

問. あなたは、生きがいを持ち楽しく生きていますか。(〇は1つだけ)

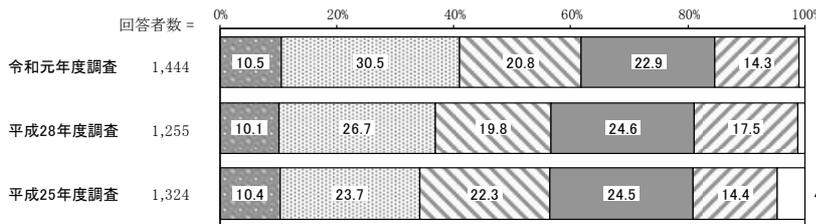


「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた“感じている”の割合が80.5%、「あまり感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が18.7%となっています。

(2) 地域との関わり合い

問. 隣近所(歩いて行ける程度の範囲)にどの程度のおつきあいの人がいますか。(〇は1つだけ)

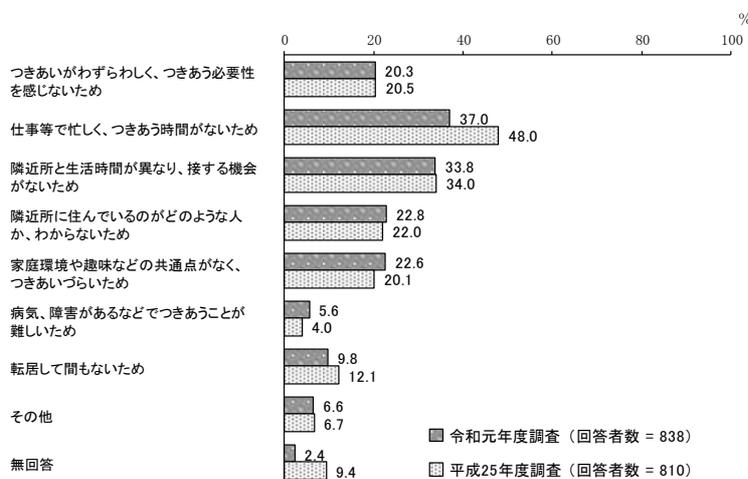
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が30.5%と最も高く、次いで「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が22.9%、「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる」の割合が20.8%となっています。過去の調査と比較すると、平成25年度調査から「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が増加しています。

「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います

附問. 近所づきあいがあまりないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに〇)

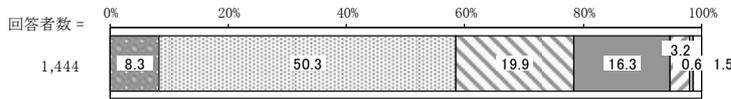


「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が37.0%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が33.8%、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が22.8%となっています。平成25年度調査と比較すると、「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が減少しています。

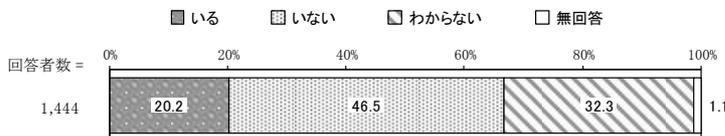
問. あなたにとって、隣近所の人との理想の付き合い方はどれですか。(〇は1つだけ)

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- 立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係
- 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が50.3%と最も高く、次いで「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が19.9%、「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が16.3%となっています。

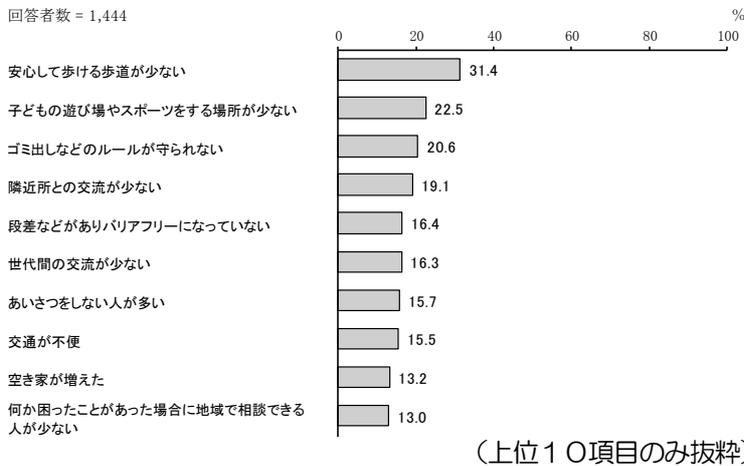


問. あなたの隣近所には、「ちょっと心配だな…」と気にかかる人はいますか。(〇は1つだけ)



「いない」の割合が46.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が32.3%、「いる」の割合が20.2%となっています。

問. 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

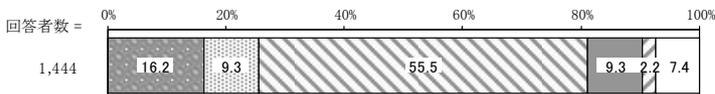


「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が22.5%、「ゴミ出しなどのルールが守られない」の割合が20.6%となっています。

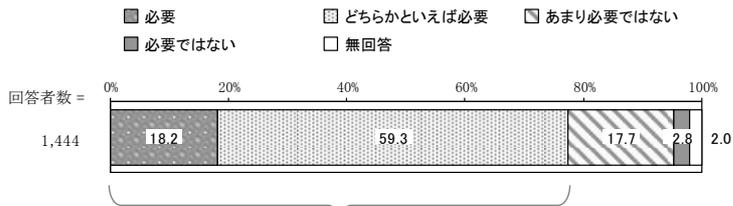
問. 今後、地域の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(〇は1つだけ)

- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
- 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- その他
- 無回答

「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が55.5%と最も高く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が16.2%となっています。



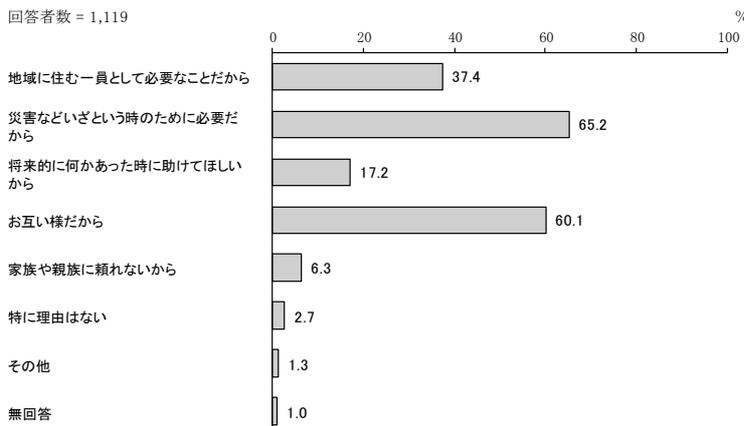
問. 身近な地域での助け合い活動が必要だと思いますか。(○は1つだけ)



「必要」と「どちらかといえば必要」をあわせた“必要”の割合が77.5%、「あまり必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要ではない”の割合が20.5%となっています。

「必要」「どちらかといえば必要」のいずれかにお答えの方に伺います

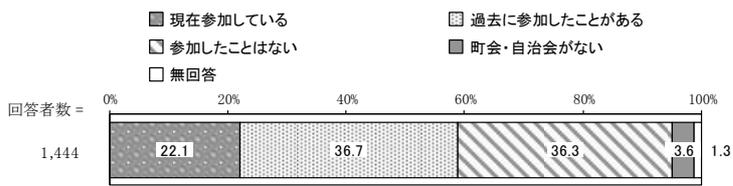
附問. それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)



「災害などいざという時のために必要だから」の割合が65.2%と最も高く、次いで「お互い様だから」の割合が60.1%、「地域に住む一員として必要なことだから」の割合が37.4%となっています。

(3) 地域での活動

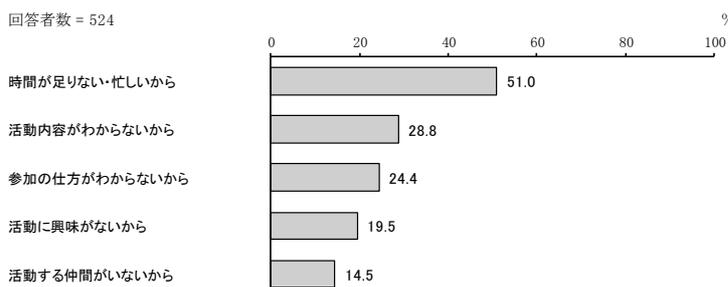
問. あなたは、町会・自治会の活動に参加していますか。またはしたことがありますか。(○は1つだけ)



「過去に参加したことがある」の割合が36.7%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が36.3%、「現在参加している」の割合が22.1%となっています。

「参加したことはない」とお答えの方に伺います

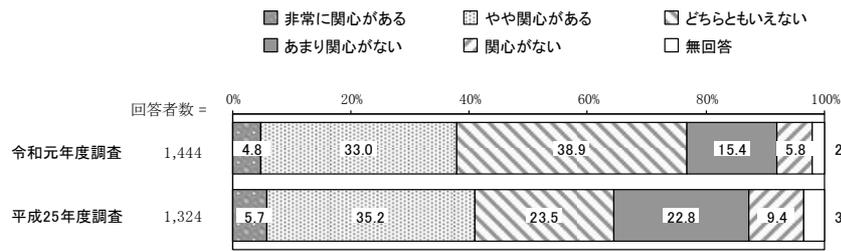
附問. 町会・自治会の活動に参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



「時間が足りない・忙しいから」の割合が51.0%と最も高く、次いで「活動内容がわからないから」の割合が28.8%、「参加の仕方がわからないから」の割合が24.4%となっています。

(上位5項目のみ抜粋)

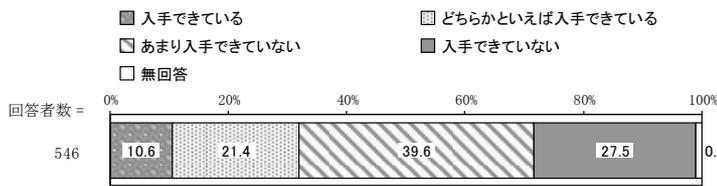
問. あなたは、ボランティアや市民活動にどの程度関心がありますか。



「非常に興味がある」と「やや興味がある」をあわせた「関心がある」の割合が37.8%、「どちらともいえない」の割合が38.9%、「あまり興味がない」と「関心がない」をあわせた「関心がない」の割合が21.2%となっています。

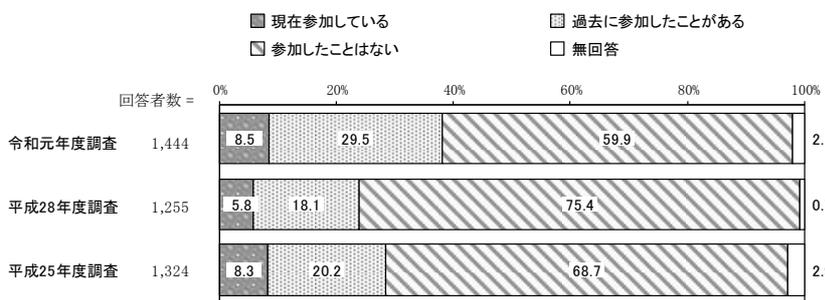
「非常に興味がある」「やや興味がある」のいずれかにお答えの方に伺います

附問. あなたは、ボランティアや市民活動の情報を入手できていますか。
(○は1つだけ)



「入手できている」と「どちらかといえば入手できている」をあわせた「入手できている」の割合が32.0%、「あまり入手できていない」と「入手できていない」をあわせた「入手できていない」の割合が67.1%となっています。

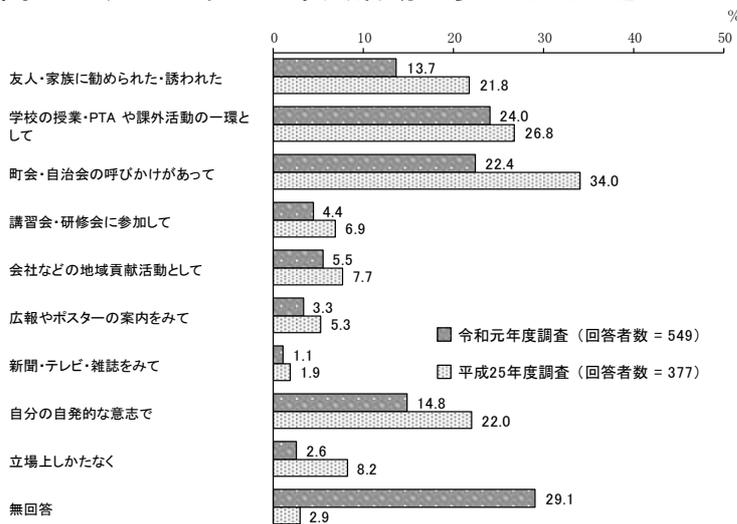
問. あなたは、ボランティア、市民活動をしていますか。または、したことがありますか。(○は1つだけ)



「参加したことはない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「過去に参加したことがある」の割合が29.5%となっています。過去の調査と比較すると、平成25年度調査から「過去に参加したことがある」の割合が増加傾向にあり、「参加したことはない」の割合が減少傾向にあります。

「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

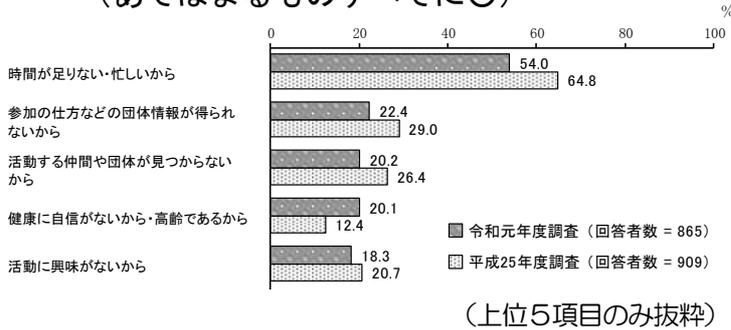
附問. ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」は何ですか。(○は2つまで)



「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が24.0%と最も高く、次いで「町会・自治会の呼びかけがあつて」の割合が22.4%、「自分の自発的な意志で」の割合が14.8%となっています。平成25年度調査と比較すると、「友人・家族に勧められた・誘われた」「町会・自治会の呼びかけがあつて」「自分の自発的な意志で」「立場上しかたなく」の割合が減少しています。

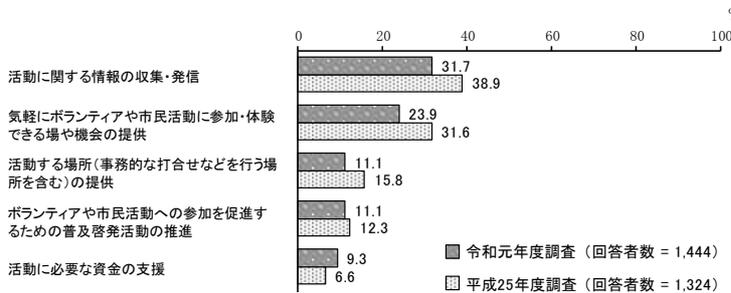
「参加したことはない」とお答えの方に伺います

附問. ボランティアや市民活動に参加したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)



「時間が足りない・忙しいから」の割合が54.0%と最も高く、次いで「参加の仕方などの団体情報が得られないから」の割合が22.4%、「活動する仲間や団体が見つからないから」の割合が20.2%となっています。

問. 今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思いますか。(○は2つまで)

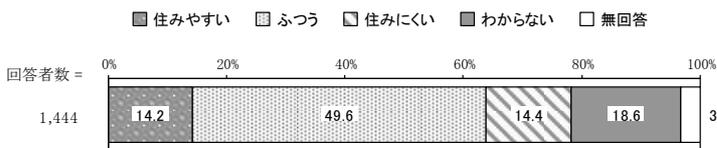


「活動に関する情報の収集・発信」の割合が31.7%と最も高く、次いで「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が23.9%、「活動する場所(事務的な打合せなどを行う場所を含む)の提供」「ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進」の割合が11.1%となっています。

(「わからない」「無回答」を除く上位5項目のみ抜粋)

(4) その他

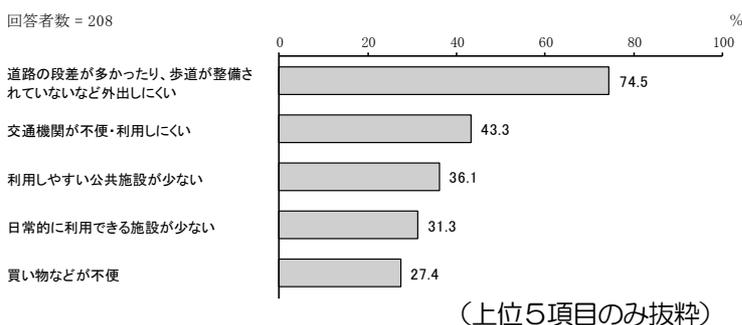
問. 船橋市は、高齢者・障害のある方・子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)



「ふつう」の割合が49.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.6%、「住みにくい」の割合が14.4%となっています。

「住みにくい」とお答えの方に伺います

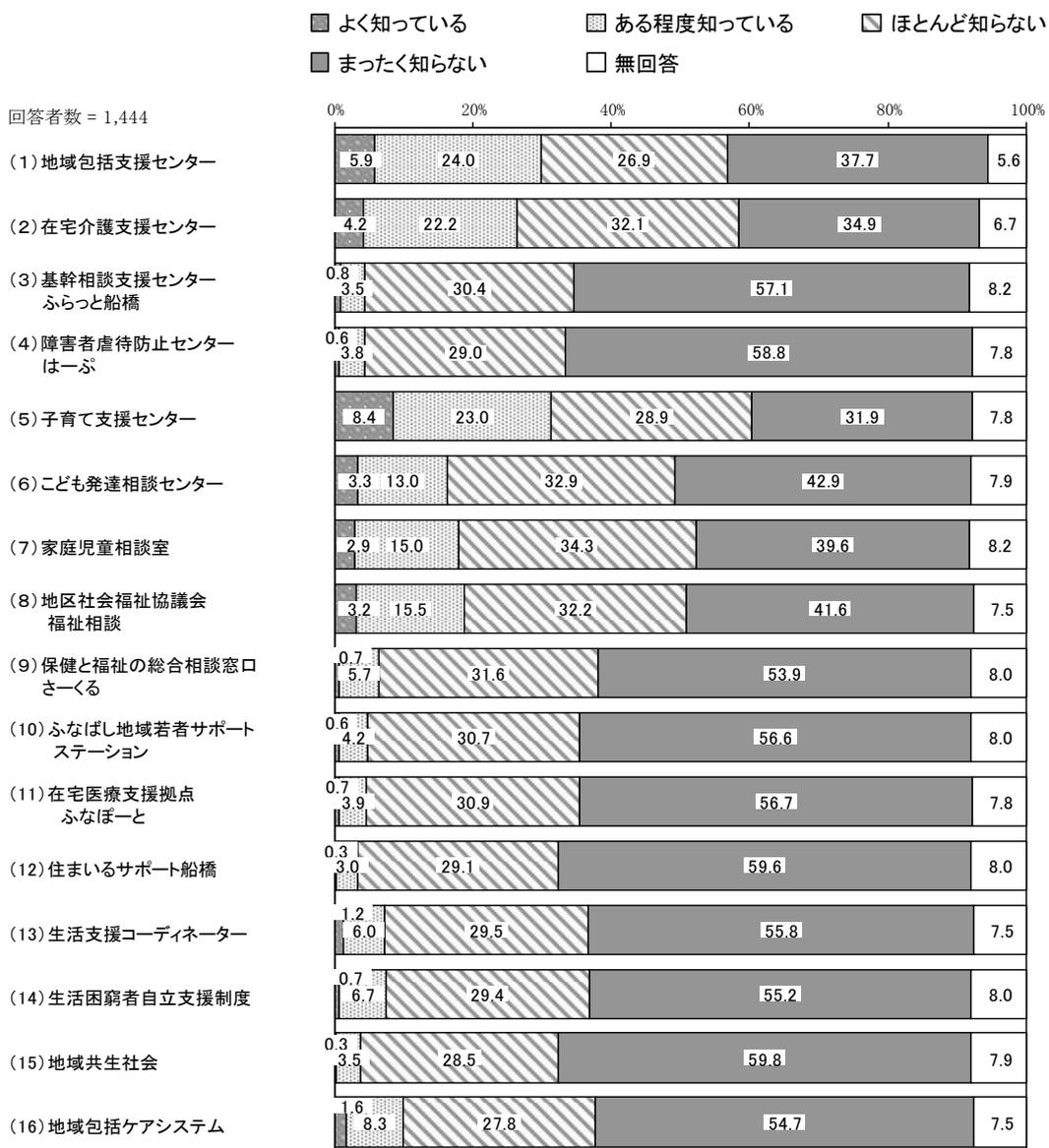
附問. 住みにくいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



「道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなど外出しにくい」の割合が74.5%と最も高く、次いで「交通機関が不便・利用しにくい」の割合が43.3%、「利用しやすい公共施設が少ない」の割合が36.1%となっています。

問. あなたは、次の事業・相談窓口・制度等をどの程度ご存じですか。
 (それぞれ1つだけ○)

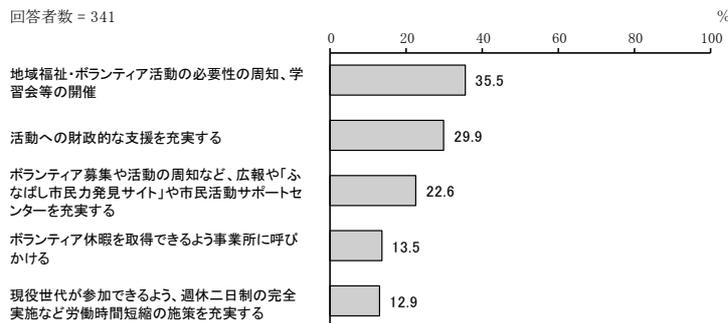
(1) 地域包括支援センター、(5) 子育て支援センターで「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた“知っている”の割合が高く、約3割となっています。一方、(3) 基幹相談支援センター ふらっと船橋、(4) 障害者虐待防止センター はーぶ、(10) ふなばし地域若者サポートステーション、(11) 在宅医療支援拠点 ふなぼーと、(12) 住まいるサポート船橋、(15) 地域共生社会で「ほとんど知らない」と「まったく知らない」をあわせた“知らない”の割合が高く、約9割となっています。



2 団体調査結果

問. 活動の担い手を増やすために必要な行政の支援はありますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 341

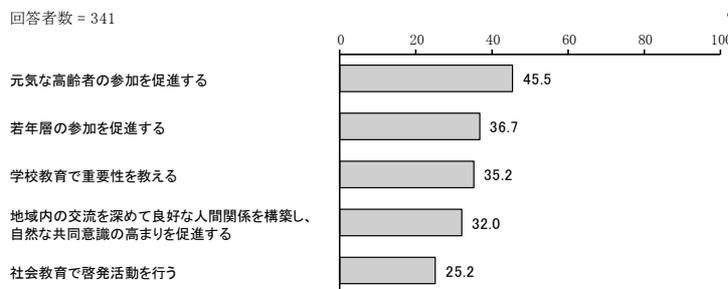


(「特になし」を除く上位5項目のみ抜粋)

「地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催」の割合が35.5%と最も高く、次いで「活動への財政的な支援を充実する」の割合が29.9%、「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が22.6%となっています。

問. 今後、ボランティア活動や市民の自主的な活動等を活性化するためには、活動をするうえで何が必要だと考えますか。(〇は主なもの5つ以内)

回答者数 = 341

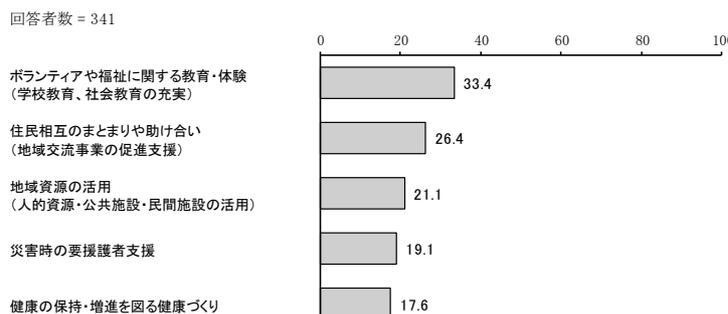


(上位5項目のみ抜粋)

「元気な高齢者の参加を促進する」の割合が45.5%と最も高く、次いで「若年層の参加を促進する」の割合が36.7%、「学校教育で重要性を教える」の割合が35.2%となっています。

問. 福祉関連の分野で特に行政が力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。(〇は主なもの3つ以内)

回答者数 = 341



(上位5項目のみ抜粋)

「ボランティアや福祉に関する教育・体験(学校教育、社会教育の充実)」の割合が33.4%と最も高く、次いで「住民相互のまとまりや助け合い(地域交流事業の促進支援)」の割合が26.4%、「地域資源の活用(人的資源・公共施設・民間施設の活用)」の割合が21.1%となっています。

船橋市第4次船橋市地域福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書 (抜粋版)

発行年月：令和2年3月

発行・編集：船橋市健康福祉局福祉サービス部 地域福祉課
〒273-0011 千葉県船橋市湊町2-10-18 千葉県船橋合同庁舎4階
TEL：047-436-2314 FAX：047-436-3315
E-mail：chiikifukushi@city.funabashi.lg.jp